

4 章 2015 年度 COC 事業による「地域貢献」

学生の取り組み紹介 その2

2015年度市民公開講「支えあって変えていく ～自分らしく生き、そして旅立つために～」

2015年度シンポジウム「地域での看取り：終末期を地域で過ごすということ」

神戸市看護大学まちな保健室出前講座の実施

もの忘れ看護相談

こころと身体 of 看護相談

その他の社会貢献活動

健康講座の実施

地域事業への参加



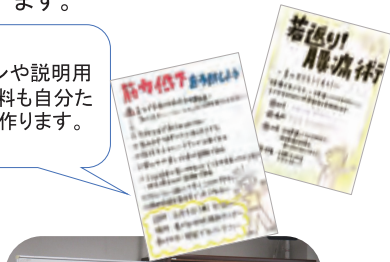
神戸市看護大学 地(知)の拠点整備事業 学生の取り組み紹介 その2

3年生で学ぶこと

「健康学習論」

母子～成人、高齢者といったあらゆる世代に応じた健康教育を企画し、教育ボランティアの方を前に発表を行います。

チラシや説明用の資料も自分たちで作ります。



H27年度は、ロコモティブシンドローム予防と腰痛予防のテーマで行いました。



“われは海の子”の歌に合わせて体操しました。

4年生で学ぶこと

「健康行動論」

住民の方に生活習慣や健康に関するインタビューを行い、日々の生活習慣や行動がどのように健康に影響し、健康を維持・増進する上でどのように行動の変化を及ぼすのかを理論を用いて学びます。

北須磨文化センターで実施しました。



7名のボランティアさんに協力いただき、グループで普段の生活や健康について40分インタビューします。

継続看護・訪問看護の教育

- 病院から中間施設・地域でのケアにスムーズに移行することができるよう、看護師としてケアの計画・実行を行なえる基礎能力を身につけるカリキュラムを導入しています。
- 保健・医療・福祉によるチームケアの核となり、地域ケアシステム、在宅医療の連携システムの中で訪問看護、継続看護の実践者としての役割を果たせる人材を育成しています。
- COCシンポジウムや市民公開講座に学生も参加し、神戸市の保健医療・福祉の課題について学びます。



「在宅看護学概論」の授業として、シンポジウムに参加しました。



市民公開講座では、ボランティアサークルの学生、住民、行政の方とリレートークを行いました。



「地域包括ケアシステム」をテーマにしたシンポジウム